

DV防止フォーラム 2017

「お前は俺と同等だと思っ
なよ」

すべての責任はお前にあると、
夫は何度も言った。
私も、自分がダメなのだと思っ
ていた。
でも、それは違った。
幸せになれるのは、
自分のわがままのせいでも、
努力が足りないからでもない。
夫にとって、
ハラスメントの対象は
誰でもよかった。
自分より弱い人間だったら
誰でもよかったのだ。

「家庭モラル・ハラスメント」
(熊谷 早智子著・講談社)より



With Youさいたま情報ライブラリーで貸出中

平成 29 年 **11 / 19** 日

13:00 — 16:00 (12:30 開場)

会場：With Youさいたま (埼玉県男女共同参画推進センター)
セミナー室

講師・パネリスト

白川 美也子さん
(精神科医・臨床心理士)

黒田 典子さん
(弁護士)

熊谷 早智子さん
(「家庭モラル・ハラスメント」著者)

定員 150 名

参加費無料

保育あり
(要予約)

手話通訳あり
(要予約)

九都県市共同キャッチフレーズ

モラル・ハラスメント配偶者にであったら

第 1 部 基調講演・ミニ講座

配偶者による「モラル・ハラスメント」とは？被害による心身への影響は？
そして法的に対応できることは？当事者、心理の専門家、そして法律家による
「モラル・ハラスメント」についての基礎講座です。

第 2 部 シンポジウム

自分の、そして知人の配偶者がモラル・ハラスメント配偶者だった…。その時
モラハラ家庭ではどんなことが起きているのか？自分はどうか対応すれば？当事者、
心理の専門家、そして法律の専門家を交えて考えます。

言い訳にしない「好きだから」
～ストップ デートDV～

九都県市は共同で若年層における交際相手からの暴力
(デートDV)の未然防止の啓発に取り組んでいます。



埼玉県マスコット
「コパトン」&「さいたまっち」

すでにあなたは「支配」されているかも？（ ）に配偶者や恋人の名前をいれてチェック！

- () の言うことは絶対だ。
- 自分の希望を () に伝えるのはとてもエネルギーがいる。
- () が帰ってくるととても緊張する。
- () を恐れている。
- () を待たせることはできない。
- 自分がどう感じるかより、() が怒らないかが基準。
- 自分の好みより () の好みが一番優先。
- () の言動に自分は意見ができない。
- たとえ間違っていると思っても () に同調しなくてはならない。
- () に自分の本音は絶対言えない。
- () が怒り出すと、なんとかなだめようとしてしまう。
- () の機嫌が良い状態であるためにはどんなことでもする。
- どんなに楽しんでいても、() の機嫌が悪くなったらもう楽しめない。
- 自分の欲しいものでも () が良い顔をしなければ買えない。
- 子どもが () の気に入らないことをするとすごくあせる。

「傷ついたあなたへ～私が私を大切にすること」(レジリエンス・梨の木舎) より一部抜粋・改変

〈講師・パネリスト〉

白川 美也子^{さん}

医師、臨床心理士。「こころからだ・光の花クリニック」院長。浜松医科大学卒業後、独立行政法人天竜病院小児神経科・精神科医長、浜松市精神保健福祉センター初代所長、昭和大学特任助教などを歴任。トラウマに関するケアや治療技法の普及に努めている。EMDR学会理事（認定コンサルタント）。著書に『赤ずきんとオオカミのトラウマ・ケア』（アスク・ヒューマン・ケア）など。

黒田 典子^{さん}

弁護士。埼玉弁護士会両性の平等委員会委員長。「NPO法人青い空～子ども・人権・非暴力」監事、「NPO法人埼玉子どもを虐待から守る会」など、子どもの虐待防止支援などに関わっている。

熊谷 早智子^{さん}

結婚20年を前にしてモラル・ハラスメントをインターネットで知る。半年後、調停を経て離婚。2003年よりポータルサイト「モラル・ハラスメント被害者同盟」を管理運営。主な著書に、『モラル・ハラスメント』のすべて』（共著）、『家庭モラル・ハラスメント』など（いずれも講談社）。

申込み方法

電話・電子メール (m013111a@pref.saitama.lg.jp) で、

- ①講座名「DV 防止フォーラム」
 - ②氏名（ふりがな）
 - ③住所（市町村名、さいたま市の方は区まで）
 - ④連絡先電話番号
 - ⑤保育希望の有無（平成29年11月11日（土）締切）
 - ⑥手話通訳希望の有無（平成29年11月11日（土）締切）
- ①～⑥を明記の上、お申し込みください。

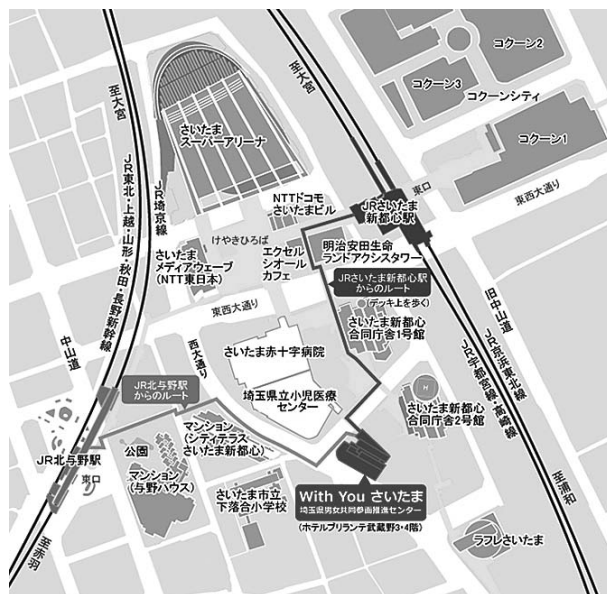
保育について（要予約）

6か月以上の未就学のお子さまをお預かりします。

●保育料：お子さま一人につき300円

●定員：20名（申込順）

申込時にお子さまの名前（ふりがな）、年齢（月齢）、アレルギーの有無をお知らせください。



【申込み・問合せ先】

埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま) 〒330-0081 さいたま市中央区新都心 2-2

TEL: 048-601-3111 FAX: 048-600-3802 Mail: m013111a@pref.saitama.lg.jp

ホームページ [With You さいたま](#) [検索](#)

※お預かりした個人情報は、本講座の運営目的のためだけに使用し、他の目的で使用することはありません。

